

喫煙防止に関する健康教育教材（下敷き）の 事業評価のためのアンケート調査結果 一報 告一

< はじめに >

「喫煙防止に関する健康教育教材（下敷き）」は、静岡県健康福祉部からの委託事業である「がん総合対策推進事業」の一環として、小学校の児童及び家族にたばこがもたらす身体的な害について啓発することを目的に、静岡県医師会、静岡県教育委員会、静岡県学校保健会、静岡県薬剤師会及び静岡県対がん協会の協力のもと、平成17年度から小学校高学年を対象として作成・配付を開始し、掲載方法の工夫等をしながら、特別支援学校も含む、県内全ての小学校へ配付を継続し、15年が経過しました。

そこで、本事業の目的達成状況や内容・活用方法等についての事業評価の参考とするため、令和2年度、県内の各小学校の教諭、学校薬剤師、県教育事務所、各市町等の教育委員会の保健指導担当者を対象に調査を実施した結果、概ね事業目的は達成され、内容等の評価・活用状況・配布対象についても、高評価が得られていることが示唆された。今回は、平成17年度、平成22年度、平成27年度に実施したアンケート結果と比較した、小学校の教諭対象のアンケート結果の概要について報告します。

*「静岡県がん対策推進計画(第3次)」において、がん予防のためのたばこ対策の具体的な戦術として、「未成年者の喫煙者数0」を目指した事業の1つに位置付けられている。

令和4年3月

静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター

I 調査対象及び回答率

県内各小学校 536 校中 325（小学校 305、特別支援学校 20）校の教諭（担任・養護教諭）339（小学校 319、特別支援学校 20）人より回答があり、回答率 60.6%であった。

	県内各小学校数 (特別支援学校含む)	回答校数	回答率	回答者数
平成17年度	759	474	62.4%	474
平成22年度	556	367	66.0%	397
平成27年度	540	318	58.9%	332
令和2年度	536	325	60.6%	339

II 調査結果・考察

- 下敷き配布時の児童の反応や感想では、概ね期待する反応を示しているものの平成22年度及び平成27年度と比較し年々児童の反応が弱くなってきている傾向が見られた（図1・図2）。一方、「ショッキングな写真が変わり、長く使おうという声が多かった」「イラストが可愛くなったので家や学校で使っている子が多い」「日常的に活用し喫煙の害を目にすることで、意識づけになっている」といった、児童の目に触れる機会が増えている報告もあった。
- 平成27年度のアンケート結果を受け、平成29年度には下敷きの写真等を新しくし文字数を減らし、キャラクターを作り、児童に親しみを持ってもらえるよう改訂を行った。今後、活用例等を示し、各学校での配布方法を工夫するよう依頼していく。
- また、受動喫煙防止対策については、令和3年度に「吸わない人も大迷惑（受動喫煙防止）」の項目を下敷きに追加したため、評価を継続していく。（図3）
- 下敷きについての意見では、どの年度も高評価を得ているが、特に「下敷きを素材にしたこと」が『とても良い』『良い』と回答した割合が増えていた（図4）。自由記載では、下敷きよりも別の素材（クリアファイルやリーフレット）の方が良いという意見もみられたが、総合的には高評価であるため、今後も継続して下敷きを作成していく。
- 配布対象（図5）については、保健学習・指導や薬学講座の対象学年である6年生の方が効果的との意見が多く見られ、『最適である』から『適当である』と回答した割合は、7割に減少していた。しかしながら、未成年者の喫煙者数0を目指すという目標達成のためには、喫煙について考える機会が繰り返されることが大切である。そのため、今後も小学校5年生に配布することを原則としていくが、各学校の実情に応じて、効果的と思われる学年に配布することは可能とする。
- 今後も静岡県がん対策推進計画に基づき、喫煙防止・受動喫煙防止対策として、効果的な喫煙防止教育が実施できるよう定期的な評価に基づく下敷きの内容の改訂を実施していく。

図1 児童から「たばこが怖い」などといった様々な反応がありましたか

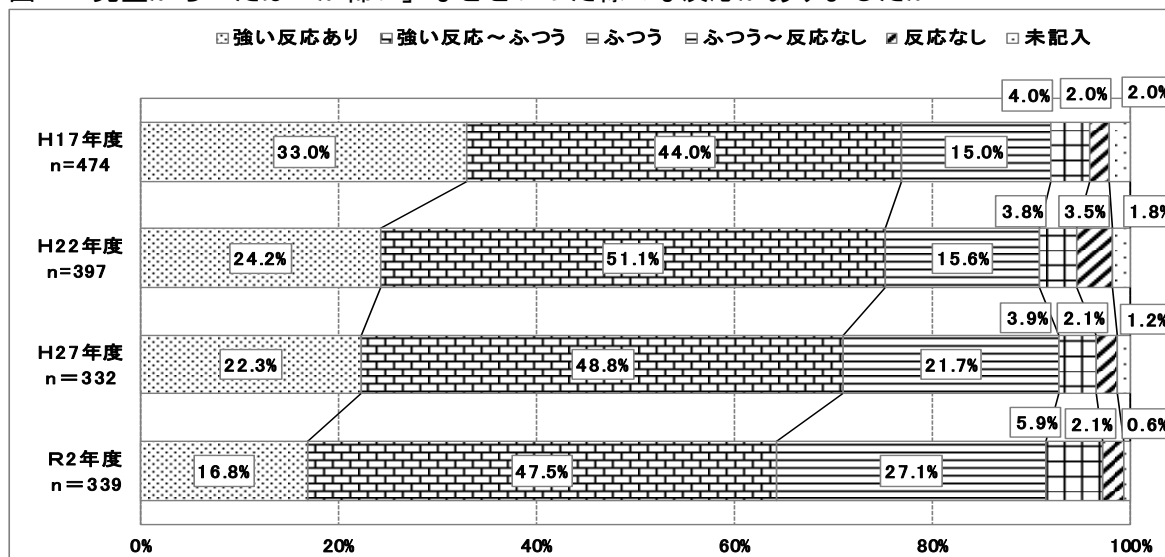


図2 児童から喫煙はしないようにするといった発言が聞かれましたか

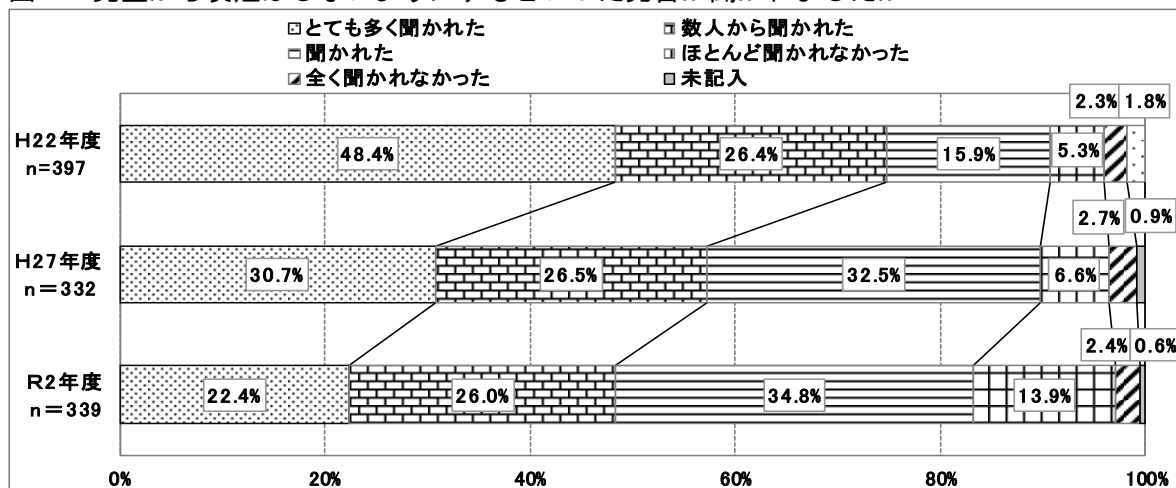


図3 児童から受動喫煙をしないようにするといった言動等がみられましたか

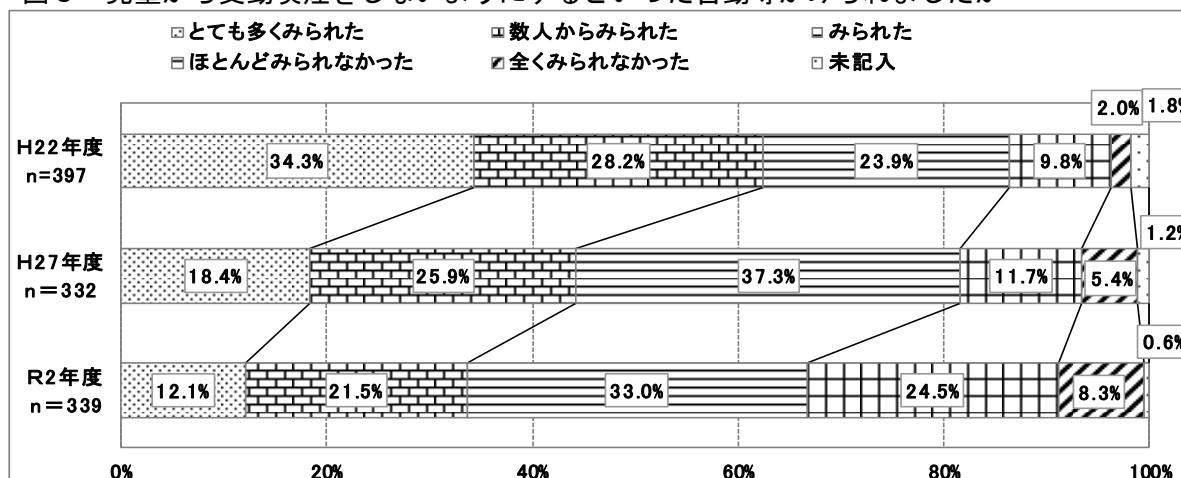


図4 下敷きを素材にしたこと

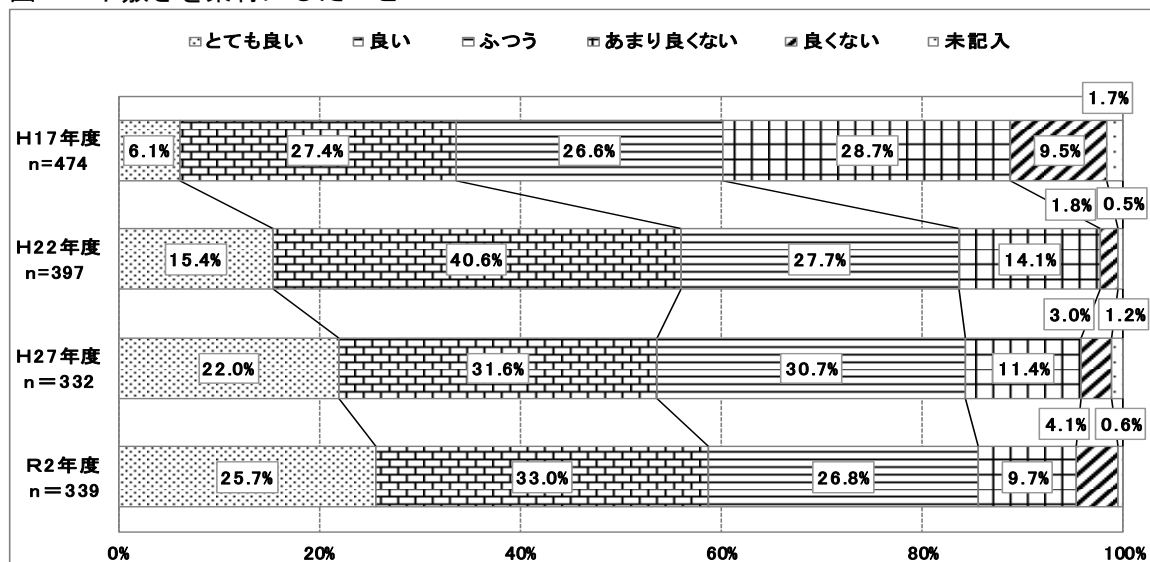
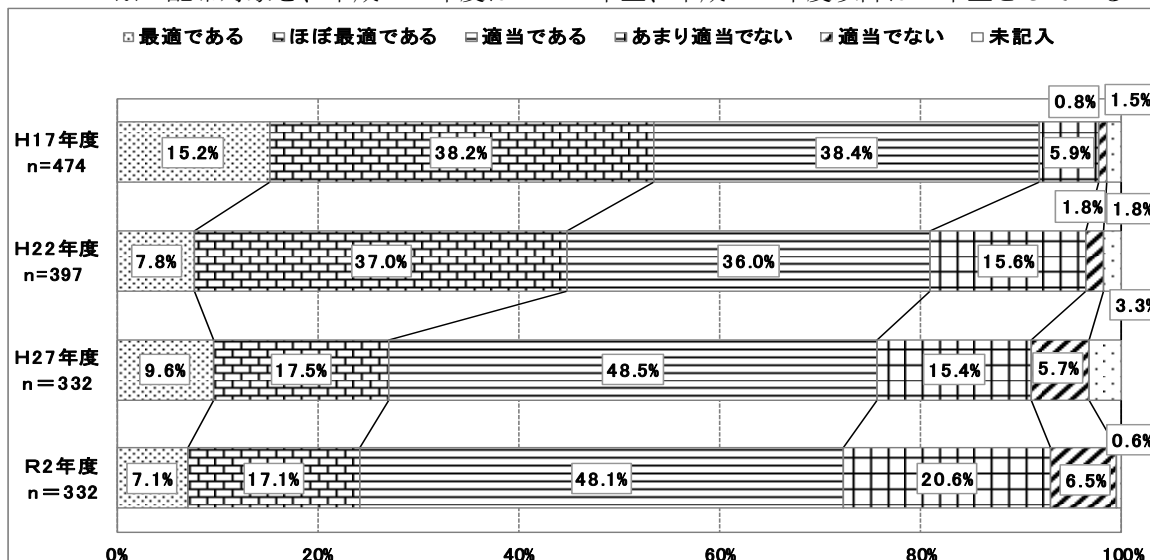


図5 喫煙防止に関する健康教育教材の配布対象について適当だと思いますか

※ 配布対象を、平成17年度は5・6年生、平成18年度以降は5年生としている



<おわりに>

最後に、アンケート調査の作成にあたって御協力いただいた、静岡県教育委員会、静岡県健康福祉部の関係各課の担当者の皆様、アンケート調査に回答いただいた、各小学校教諭、学校薬剤師、県教育事務所、各市町等の教育委員会の保健指導担当者の皆様にお礼申し上げます。

静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター

住所：〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪1007

電話：055-989-5222 (代) (内線) 2118

FAX：055-989-5557

ホームページ：http://www.scchr.jp/

参考資料

喫煙防止に関する健康教育教材（下敷）の 事業評価のためのアンケート調査結果 ー詳細ー

I 「喫煙防止に関する健康教育教材（下敷）」の作成・配布の目的等について

- 1 目的 小学校の児童及び家族にたばこがもたらす身体的な害について啓発する
- 2 対象 小学校高学年
- 3 配布物 下敷「知っていますか？たばこの害」
- 4 内容 児童向けに、イラストや写真を豊富に活用し、視覚的にたばこの害について理解できるよう工夫して作成しています。
 - たばこ煙のワル者トリオ（煙の中の有害物質）
 - たばこは病気のもと（喫煙が原因で起こる病気）
 - 肺が汚れてしまう（長年の喫煙により汚れる肺の変化）
 - 子どもは吸っちゃダメ（未成年者喫煙防止法）
 - 若い年齢が一番危険（喫煙開始の年齢が低いほど危険）
- 5 作成者 静岡県健康福祉部 静岡県立静岡がんセンター
- 6 配布数

平成 17 年度（5・6 年生）	73,867 枚	平成 25 年度（5 年生）	38,196 枚
平成 18 年度（5 年生）	38,292 枚	平成 26 年度（5 年生）	37,859 枚
平成 19 年度（5 年生）	39,035 枚	平成 27 年度（5 年生）	37,766 枚
平成 20 年度（5 年生）	38,560 枚	平成 28 年度（5 年生）	34,665 枚
平成 21 年度（5 年生）	39,341 枚	平成 29 年度（5 年生）	38,000 枚
平成 22 年度（5 年生）	38,702 枚	平成 30 年度（5 年生）	38,193 枚
平成 23 年度（5 年生）	39,376 枚	平成 31 年度（5 年生）	35,032 枚
平成 24 年度（5 年生）	38,824 枚	令和 02 年度（5 年生）	38,793 枚

II 経年比較による調査結果について

1 調査対象及び回答率

	県内各小学校数 (特別支援学校含む)	回答校数	回答率	回答者数
平成 17 年度	759	474	62.4%	474
平成 22 年度	556	367	66.0%	397
平成 27 年度	540	318	58.9%	332
令和 2 年度	536	325	60.6%	339

2 調査結果

(1) 喫煙防止に関する健康教育教材（下敷）の配布時の児童の反応・感想

図 1 児童から「たばこが怖い」などといった様々な反応がありましたか

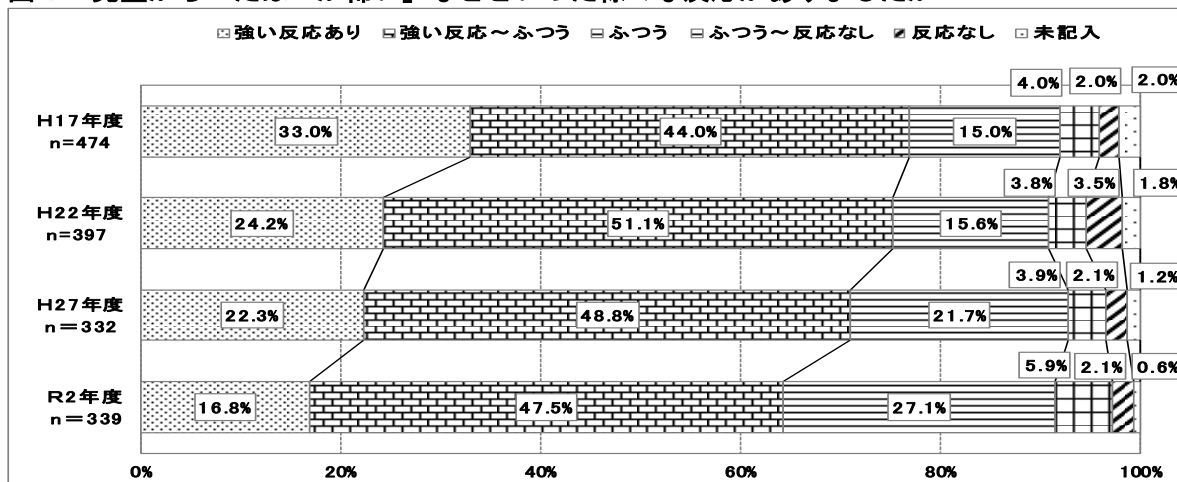


図2 児童間で話題になりましたか

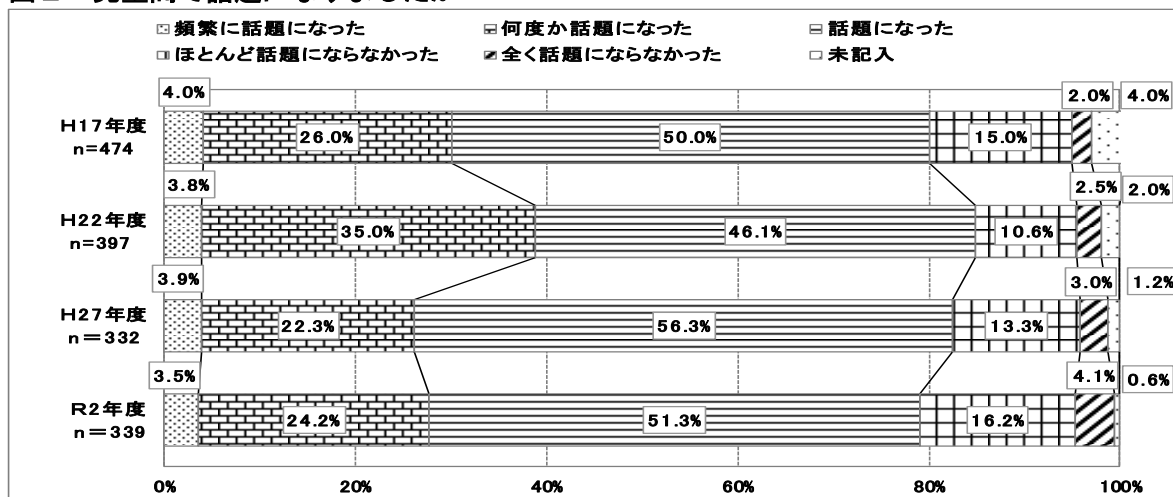


図3 児童から喫煙はしないようにするという発言が聞かれましたか

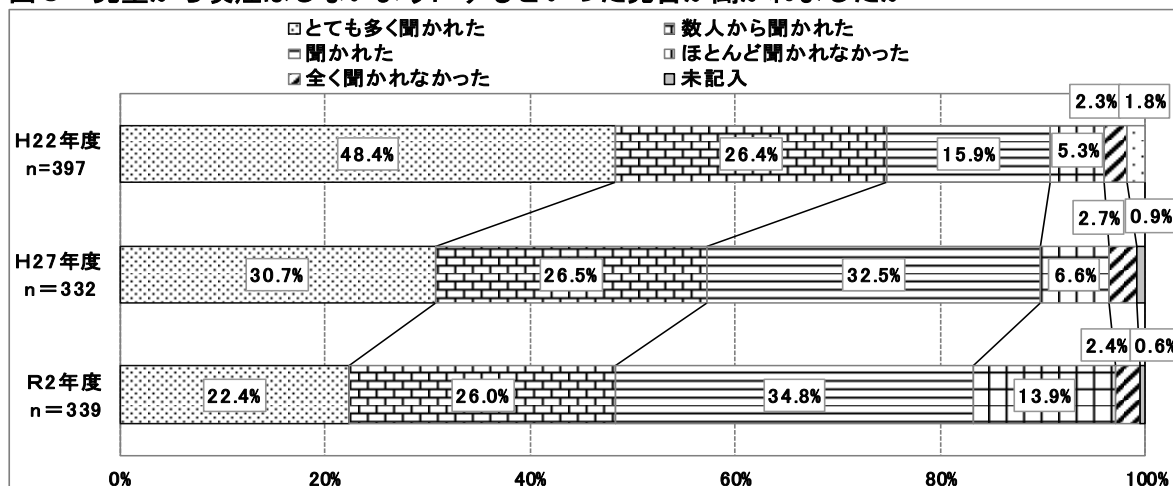


図4 児童から受動喫煙をしないようにするという言動等がみられましたか

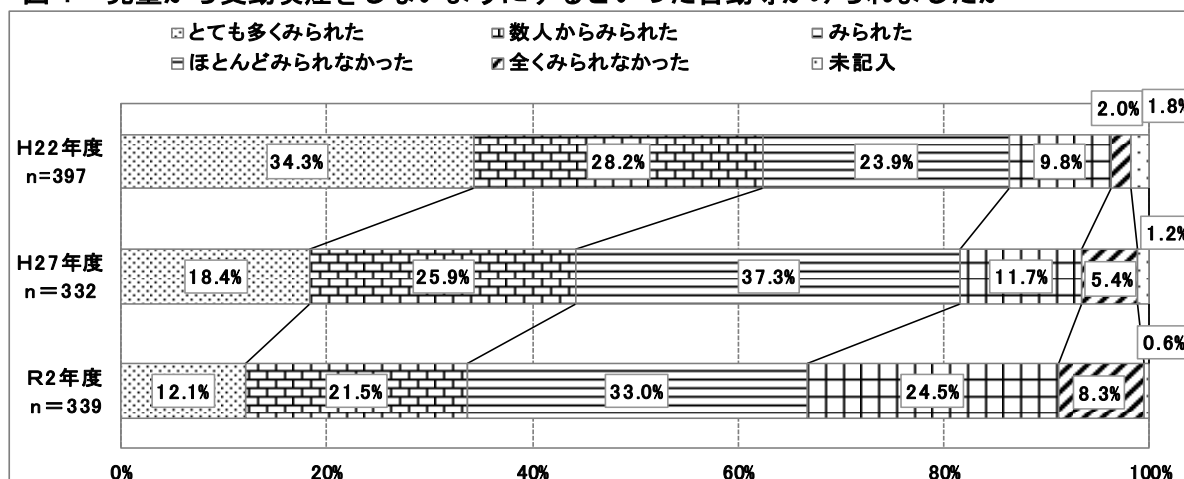
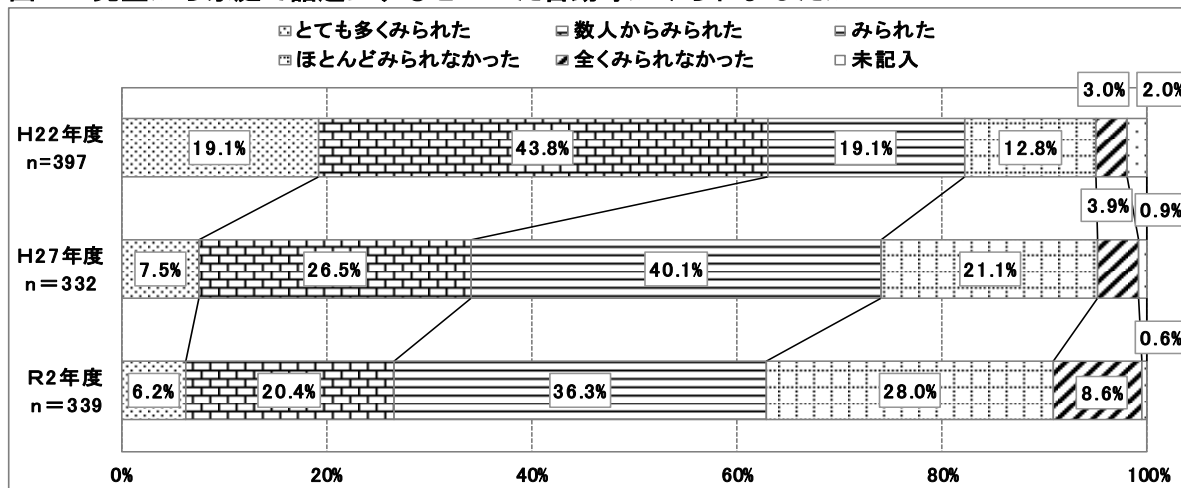


図5 児童から家庭で話題にするといった言動等がみられましたか



(2) 配布した喫煙防止に関する健康教育教材(下敷)についてのご意見

図6 子供に与える刺激の強さ

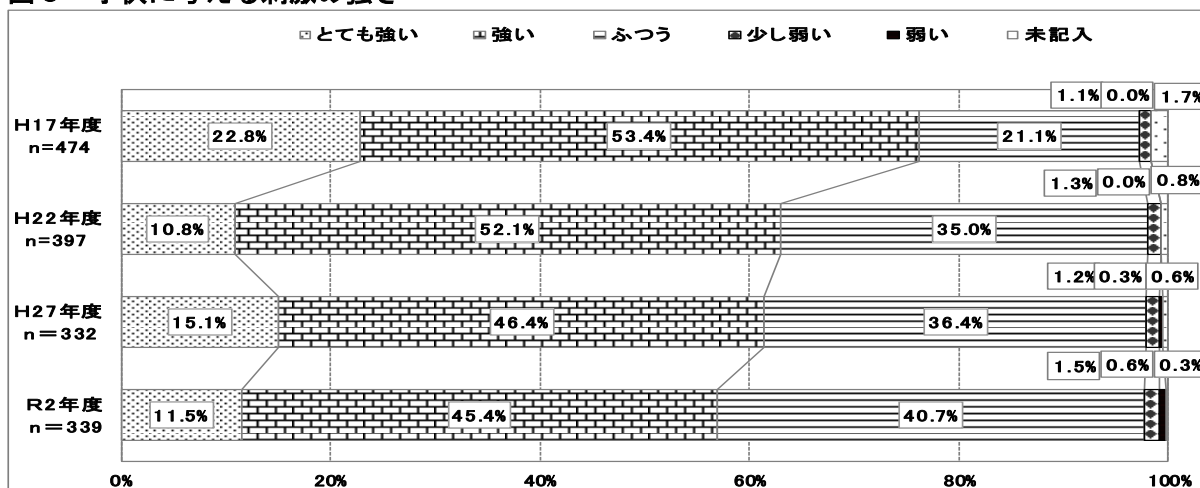


図7 内容のわかりやすさ

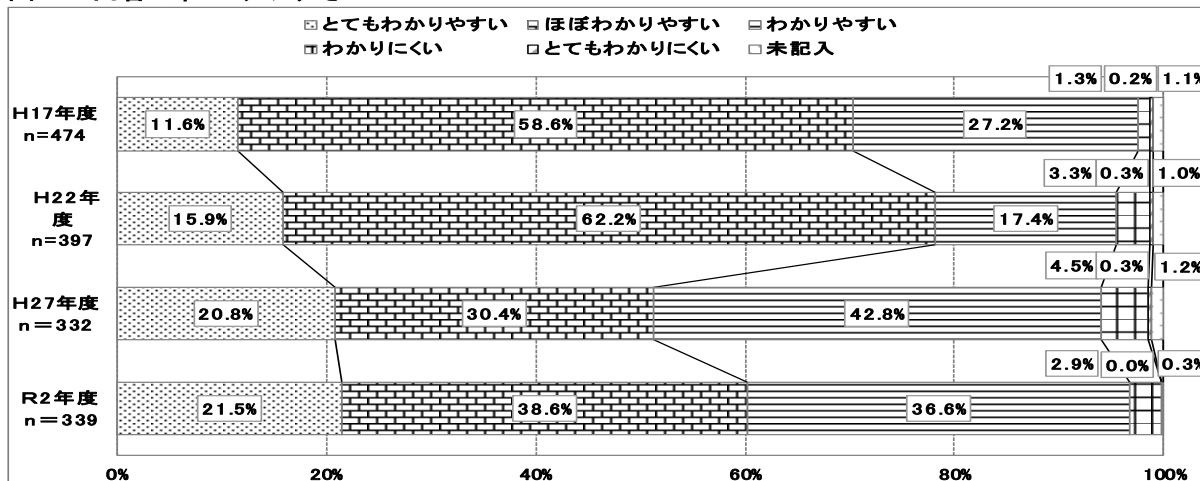


図8 下敷を素材にしたこと

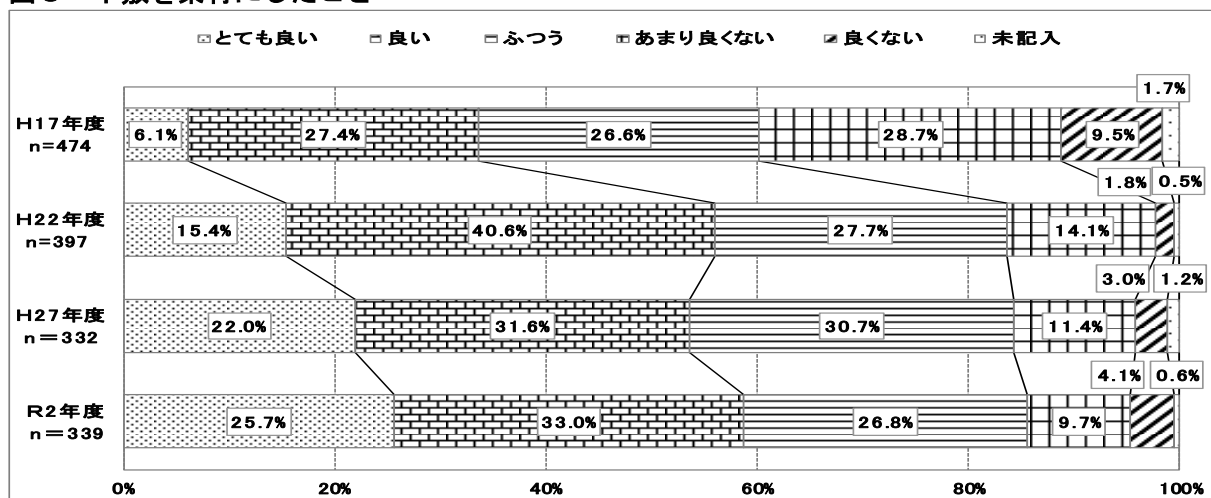


図9 学校保健や児童を対象とした健康教育の中に活用できましたか

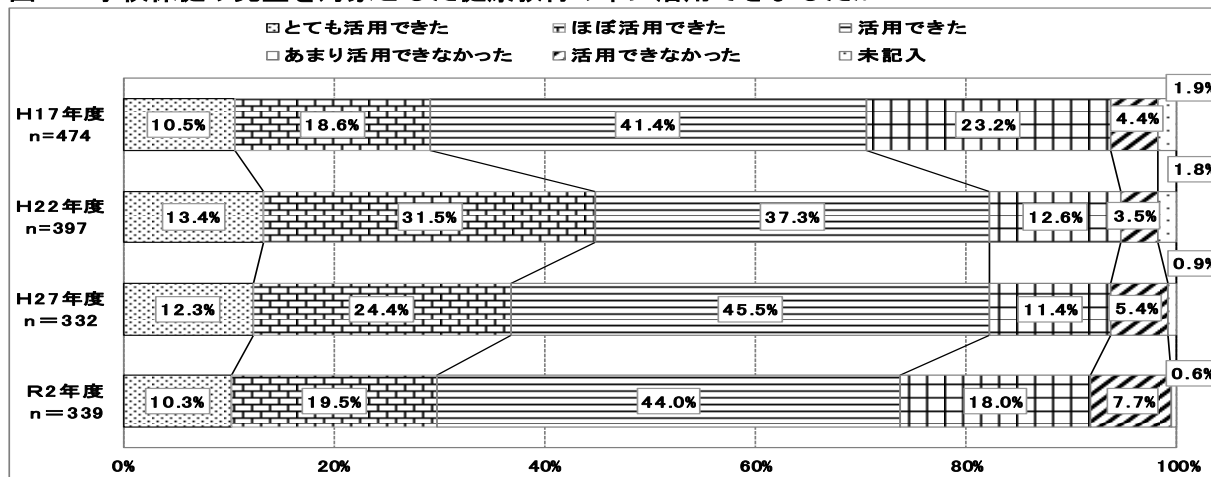
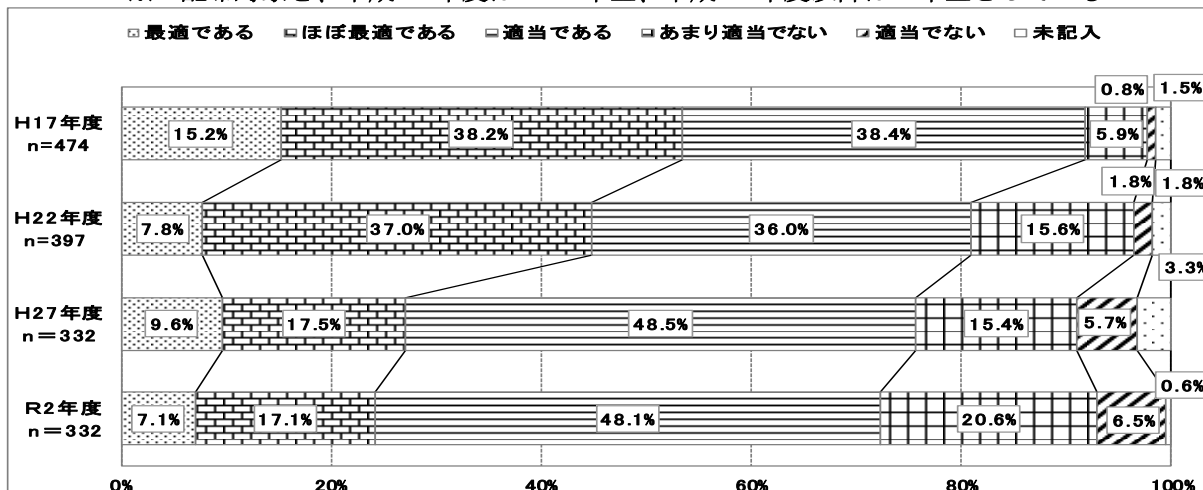


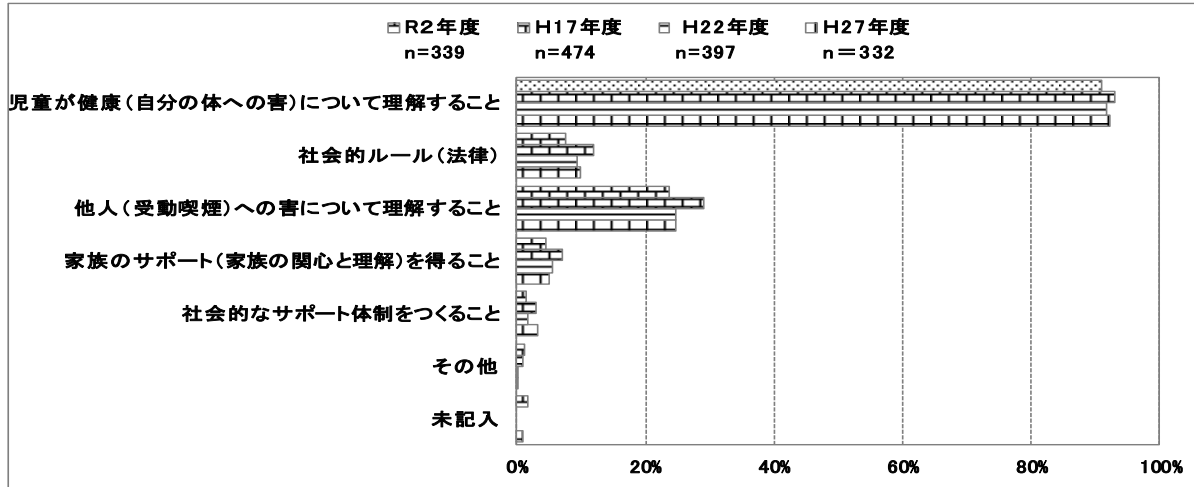
図10 喫煙防止に関する健康教育教材の配布対象について適当だと思いますか

※ 配布対象を、平成17年度は5・6年生、平成18年度以降は5年生としている



(3) 児童の喫煙防止教育について

図11 あなたが、児童への喫煙防止教育の中で最も重要視している(したい)こと 複数回答



Ⅲ 令和2年度の調査結果について

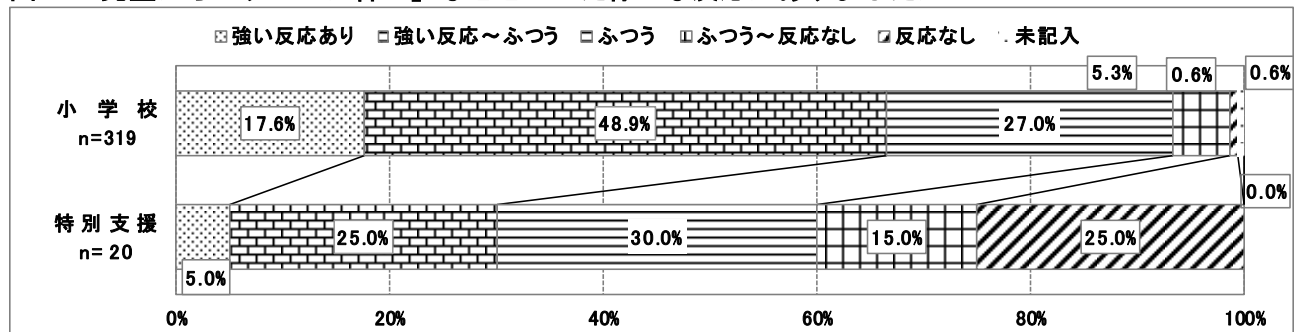
1 調査対象及び回答率

	団体数	回答団体数	回答率	回答者数
小学校(分校・分教室含む)	507	305	60.2%	319
特別支援学校	29	20	69.0%	20
県教育事務所市町等教育委員会	37	19	51.4%	19
学校薬剤師	438	208	47.5%	208
合計	1,011	552	54.5%	566

2 調査結果

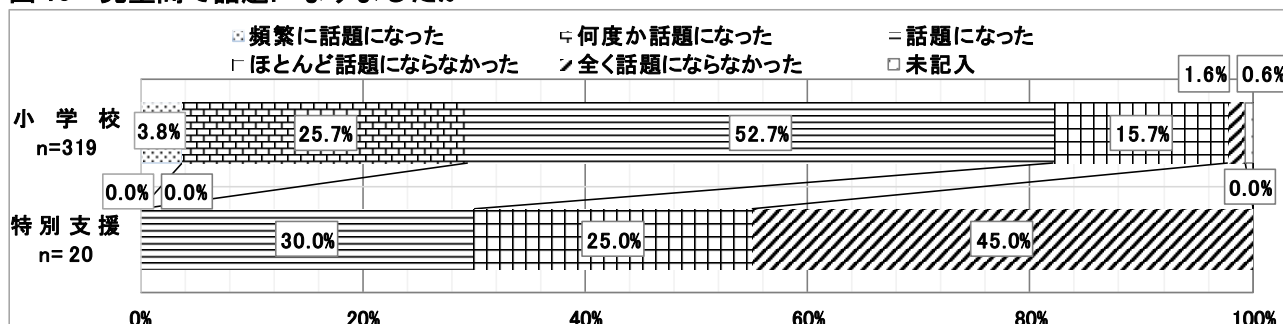
(1) 喫煙防止に関する健康教育教材の配布時の児童の反応・感想

図12 児童から「タバコが怖い」などといった様々な反応がありましたか



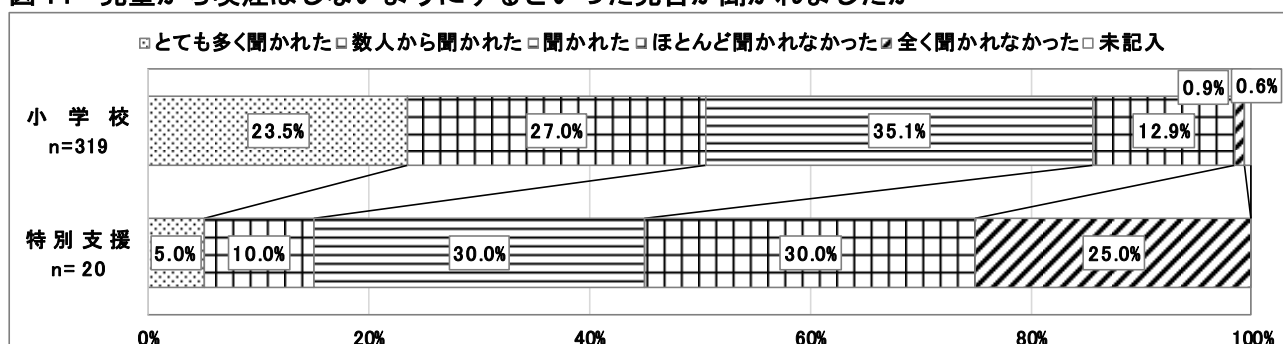
- ・「がんになる確率が高いのでおそろしい」「(肺が黒くなっている写真を見て)肺が黒くなるなんて怖い」「体の中(肺や歯)だけでなく、見た目も変わってしまうことが怖いと思った」「(肺の色の変化を見て)タバコの害がはっきりわかった」等写真やグラフを見て「タバコは怖い」「絶対に吸いたくない」という反応がとて多かった。
- ・「吸う人は、なぜ吸っているんだろうと思った」「なんでタバコがこの世にあるんだろう」といった疑問や「世の中から無くなればよかった」といった反対する反応もあった。

図 13 児童間で話題になりましたか



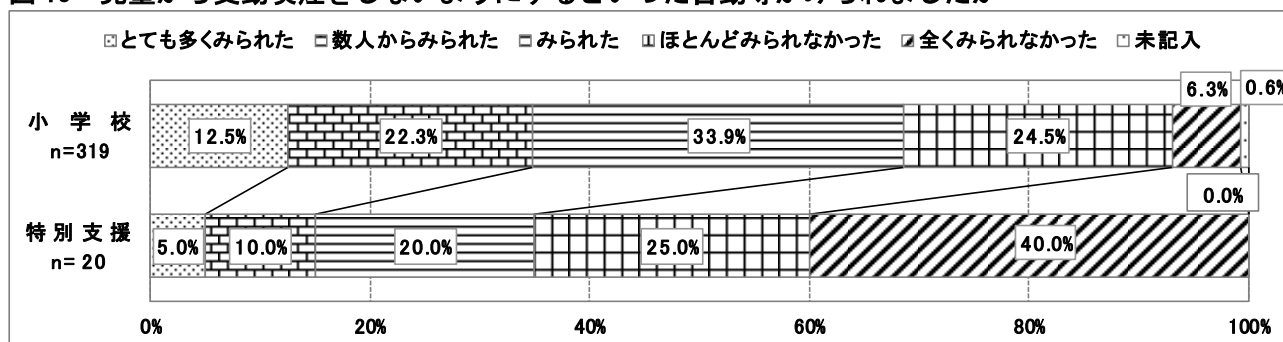
- ・「(双子の写真を見て) こんなに違うなんて！吸いたくないね」と児童間で会話する声や「なぜそんな害のあるものに手を出すのか。」など児童同士の話題に上がっていた。

図 14 児童から喫煙はしないようにするといった発言が聞かれましたか



- ・「大人になっても絶対に吸わない」「たばこは体に悪いから吸いたくない」「中学校や高校で吸うように誘われても断りたい」という声や「自分の身体を大切にしたい」「肺を汚したくないな」という自分の体を大切にする声も聞かれた。
- ・「もともと大人になってからも、たばこを吸うつもりがない」との声も聞かれるようになった。その反面、「少し興味があり一度だけ経験してみたい」や「お父さんもお母さんも吸ってるよ」と喫煙が普通のことと捉えているも反応も聞かれたが少なかった。

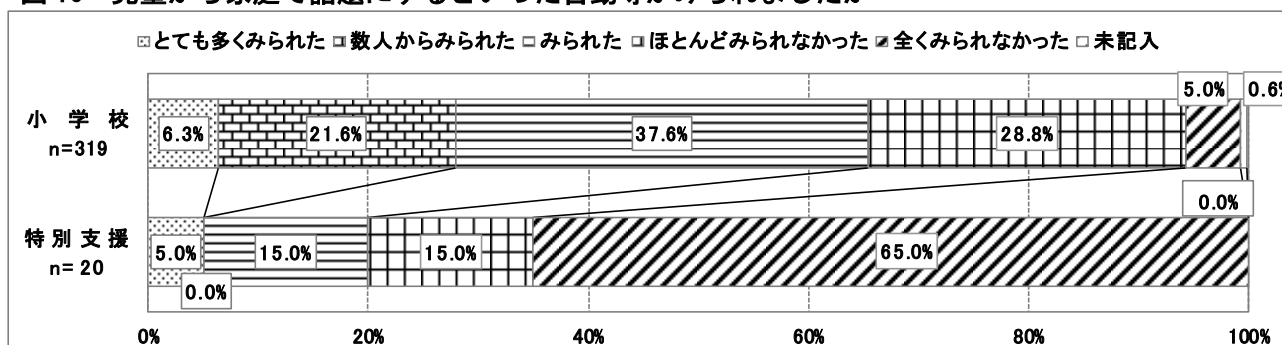
図 15 児童から受動喫煙をしないようにするといった言動等がみられましたか



- ・「煙だけでも吸っていることになるなんて知らなかった、吸っている人のそばへ行きたくないし、やめてほしい」や「たばこの煙を吸わないようにする」「たばこは周りにも影響があることに驚いた」「たばこの煙が近くにあるとそれだけで体に良くないんだね」と受動喫煙について理解し、煙を吸わないようにする声が聞かれた。
- ・「お父さんが吸っているので危ないと思った」「親がたばこを吸っているから、自分にも影響があるのではないかと」家族等の身近な大人が吸っているため、家族の健康や児童自身が受動喫煙を受けていることについて心配する反応が多かった。
- ・対策として「お父さんの喫煙について下敷きを見ながら注意した」「両親が吸っているからやめさせ

たい」「自分の親へやめるように話した」等が出ていた。

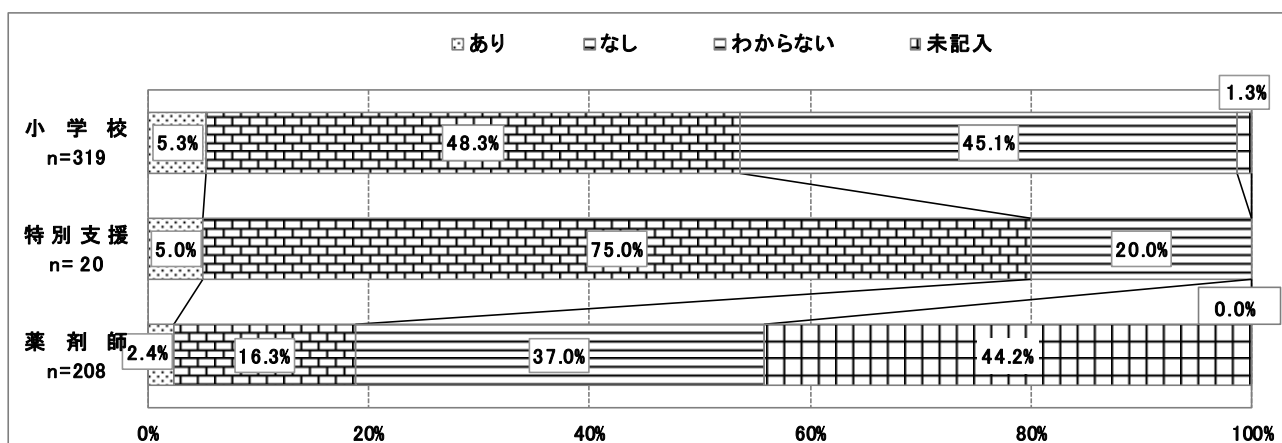
図 16 児童から家庭で話題にするといった言動等がみられましたか



- ・「(肺の写真を見て) こんなになっちゃうんだ…家の人に伝えないと」「父親が吸うからやめるように伝えたい」「親に言って吸うのをやめさせたい」「この下敷きを父に見せます。」との声が聞かれた。
- ・「父親が禁煙したことについて感謝していた」「父親が禁煙してくれた」と禁煙に繋がった声も聞かれた。

(2) 喫煙防止に関する健康教育教材の保護者の反応

図 17 保護者から何らかの反応がありましたか

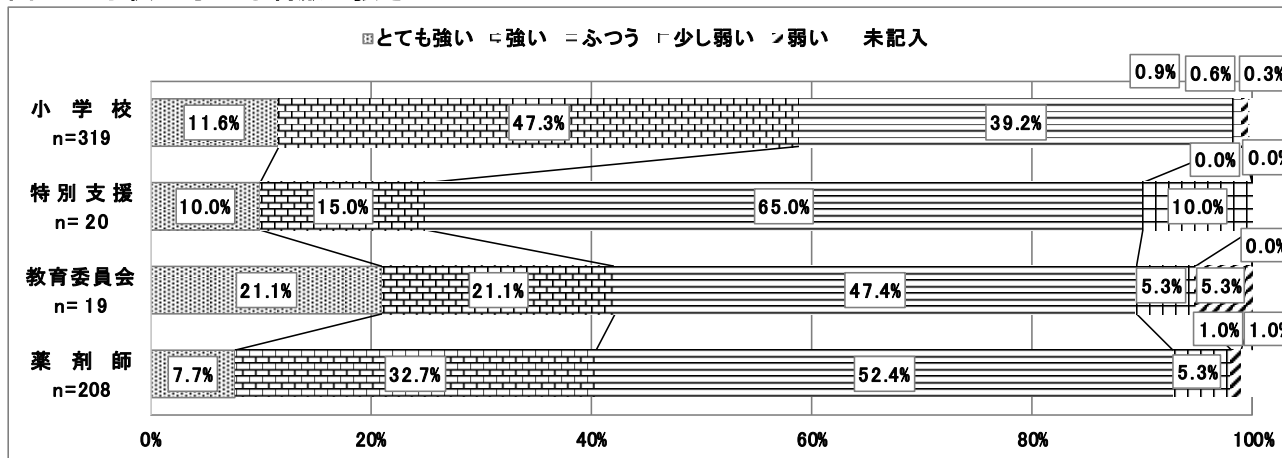


保護者からの意見 (自由記載)

- ・「学習した内容を家族に話してくれたので、健康な生活について一緒に考えることができました」「子どもが父に喫煙を注意している姿をみて、たばこの害について家族で話す時間が持てた」という家族でたばこの害について話す機会持てたとの声があった。
- ・「自身ではやめられないが、我が子には喫煙して欲しくない」「子どものために電子タバコに変えたり、ベランダで吸ったりするようになった」「子どもの一緒にいる部屋や車では吸わないようにする」など、保護者自身の喫煙や喫煙時の周囲への配慮についての思いについての反応があった。
- ・「下敷きだと写真の刺激が強く持ち歩けない」といった反応もあった。

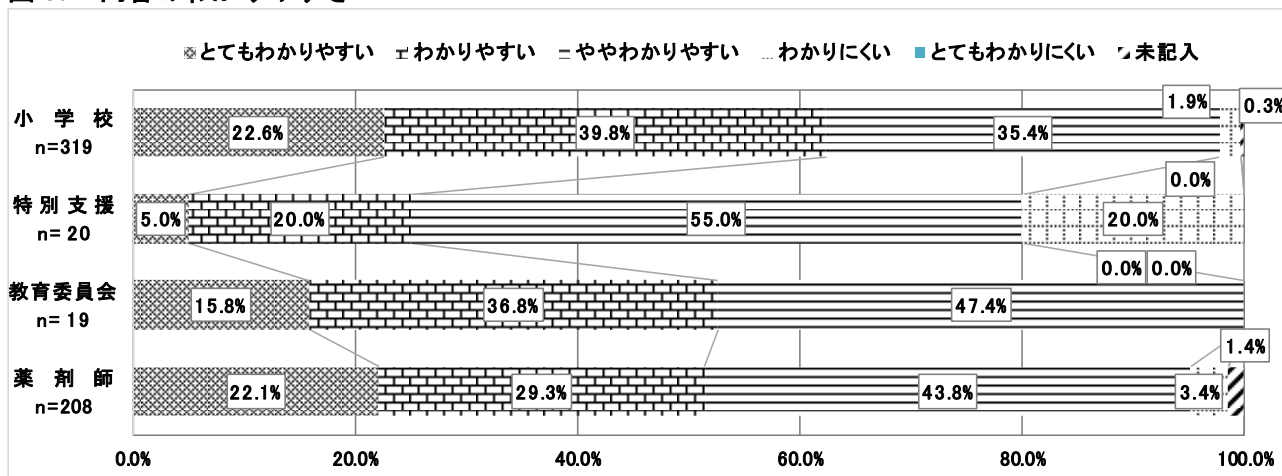
(3) 配布した喫煙防止に関する健康教育教材(下敷)についてのご意見

図 18 子供に与える刺激の強さ



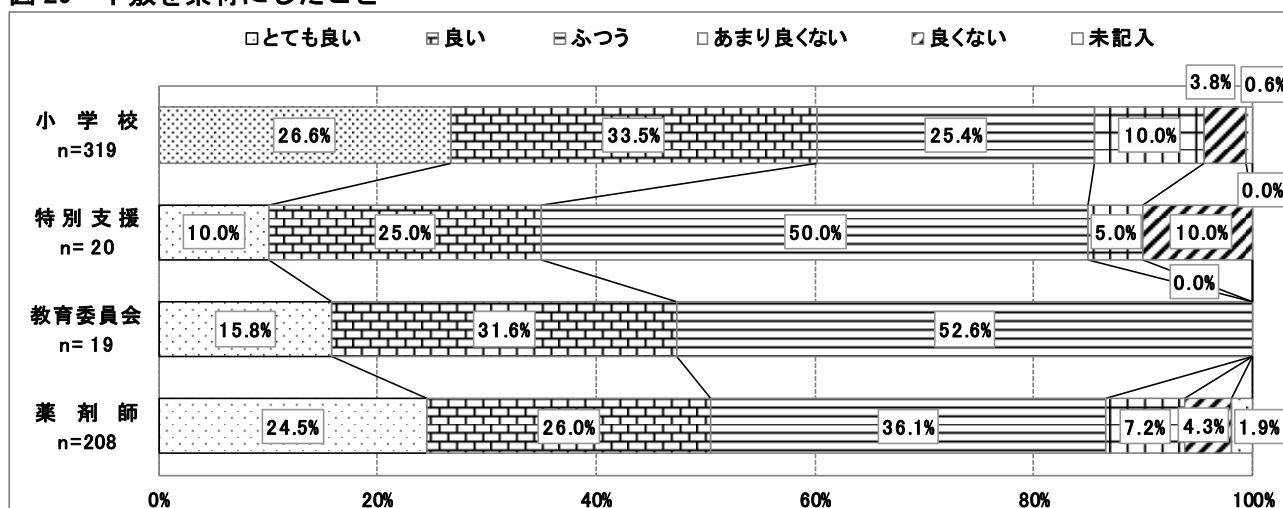
- ・「肺の写真がリアルだったので、喫煙は良くないという意識は高まる」「インパクトがある」との声が聞かれる一方で、「以前のものよりショッキングな写真が変わり、長く使おうという声が多かった」「毎日使える物なので、写真などもう少しソフトなものにして使いやすいものになるとより良い」の回答があった。

図 19 内容のわかりやすさ



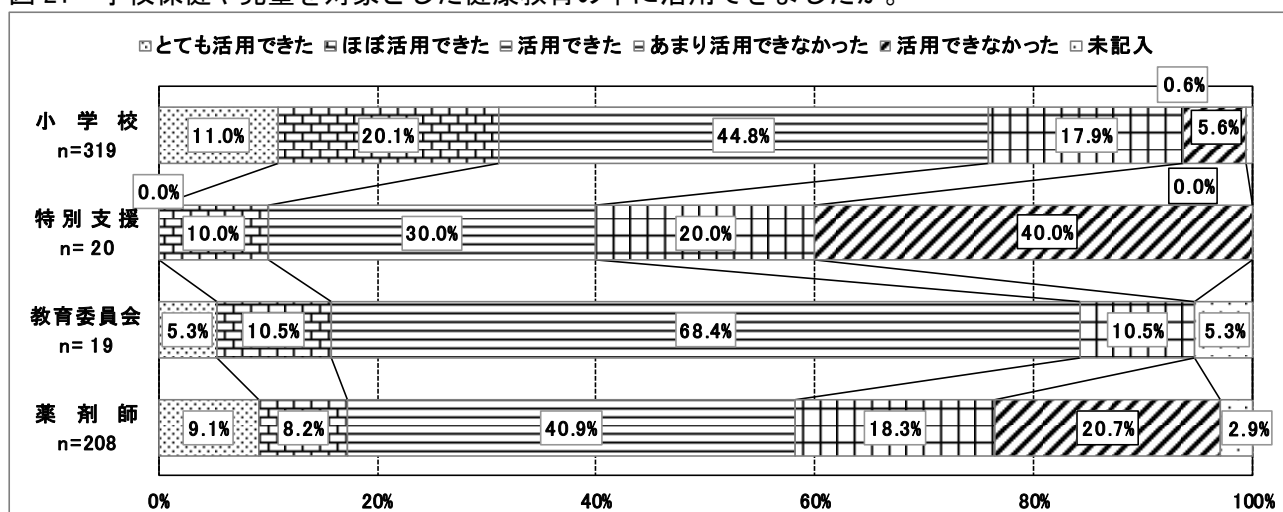
- ・「グラフ、絵、写真等が豊富にあり、児童にとっても一目でタバコの害が分かる内容になっている」「イラストも分かりやすい、インパクトがあった」「必要な内容をコンパクトにまとめてあり、分かりやすいと思った」の回答があった。
- ・「驚かす方向ではなく、生活習慣の見直しやたばこを吸わないことによる良いことを示す」「下敷きにQRコードを掲載し、更に詳しいことが分かるサイトへ案内できるようにする」「電子タバコ」の内容の掲載について回答があった。

図 20 下敷を素材にしたこと



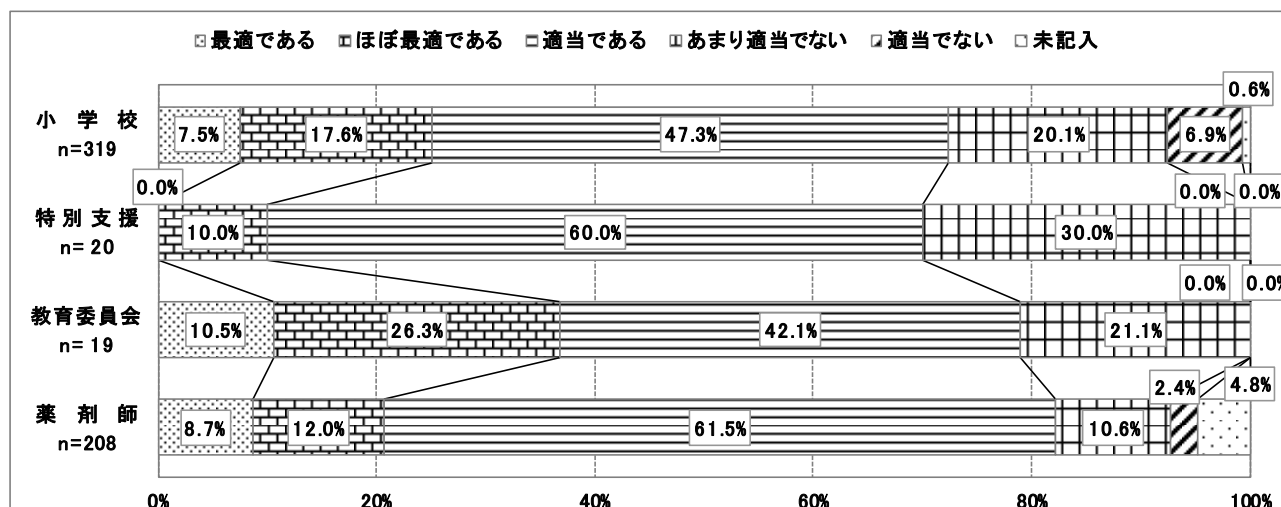
- ・「下敷きだと手元に置いて目にもよく入るので良いアイデアだと思った」「毎日目をしているので、たばこの害を確認できる良いツールだと思う」「下敷きの素材に関しては効果的だと思う」「下敷きは印象が強い」という回答があった。
- ・その一方で「B5 サイズの方が使いやすい」「下敷きとして使用する児童は少ないため、別の素材（クリアファイル、パンフレット、ポスター、DVD等）にした方がよい」「当校では無地の下敷きを推奨している」といった回答もあった。

図 21 学校保健や児童を対象とした健康教育の中に活用できましたか。



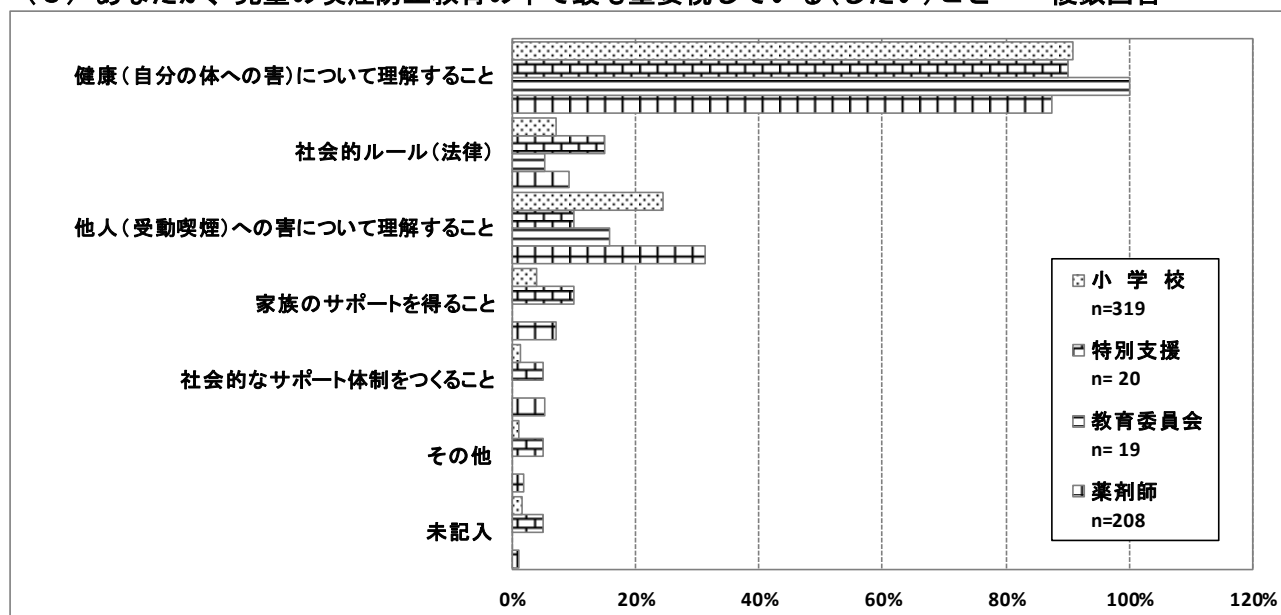
- ・小学校では、「5年生の保健の学習で心と体の成長について学ぶので合わせて活用することができた」「朝の会で話した」「家庭に持ち帰り、学んだことを家の人に伝えるよう指導した」「薬学講座で活用した」といった回答があった。一方で「保健学習の内容や薬学講座を実施する学年に下敷きを配布するとより効果的だと思う」「活用例があると活用しやすい」といった回答があった。
- ・特別支援学校では「特別支援学校用のものがあるとより分かりやすく、伝えやすくなると思った」といった回答があった。
- ・教育委員会からは「計画的な指導の中で活用することが期待できる」「喫煙と健康について学ぶ小学校6年生とした方が、授業等で活用しやすいと感じた」といった回答があった。
- ・学校薬剤師からは、「5年生で薬学講座を行わない場合は活用しにくい」「担当校の薬学講座は6年生であったので活用した。」といった回答があった。

図 22 配布対象を小学5年生にしたことは適当だと思いますか。



- ・小学校では、「6年生の保健体育で学習する機会があるため、5年生で布石を打つという点で良い」といった回答がある一方で、「喫煙についての保健学習・指導は6年生となっており、6年生を対象とした方が効果的」という回答が多かった。また、「学校に応じ薬学講座実施学年の5.6年生辺りで配布できると良い」「学校の実態（保健の授業や薬学講座）に合わせて配布すると良い」といった回答もあった。
- ・特別支援学校では「中学部や高等部へ配布が適当と思われる」といった回答があった。
- ・教育委員会からは、「小学校5.6年生の体育の保健分野で、喫煙や飲酒について学習するため、配布時期については適切だと思う」の回答があった一方で「喫煙と健康について学ぶ小学校6年生とした方が、授業等で活用しやすいと感じた」といった回答もあった。
- ・学校薬剤師からは、「担当する小学校の薬学講座は6年生のため、5年生への配布だと少し早い、学校の裁量に任せた方が良い」といった回答があった。

(3) あなたが、児童の喫煙防止教育の中で最も重要視している(したい)こと 複数回答



(4) その他、たばこ対策やがん予防対策等についてのご要望やご意見

自由回答を内容別にみると、効果的だったという意見、追加したい内容、他の健康教育教材やアプローチ方法、効果的な配布のあり方や配布の対象・時期、配布時の配慮、中高生や保護者・女性へのアプローチの必要性、喫煙防止環境・条例等の整備促進等についての意見などがあげられていた。

たばこ対策・がん対策

【小学校】

- ・児童にとっては身近な下敷を素材にしているため、チラシとは違い良く目にすることがとても良いと感じた。
- ・児童が置かれている環境に合わせて保護者への啓発も必要だと感じる。その点で、小学校生活の中で薬学講座や保健学習以外で下敷き配布という家庭にも伝わる形での事業は効果的だと感じる。
- ・がん予防対策についても教材の開発(パンフレット、リーフレット、チラシ等)をお願いしたい。
- ・がん教育の充実のため視覚的資料や講師紹介の情報提供及び出張授業をして頂けると有難い。
- ・喫煙防止教育の講師を紹介してほしい。
- ・各学校に教材となる DVD 等の配布や出前講座をお願いしたい。
- ・外国のたばこのパッケージなど、実物を見て、体験できるように資料を貸してほしい。
- ・授業で取り扱うとなると、指導要領の副教材として活用したいので学年が指定されると辛い。
- ・たばこを吸うことがお腹の中の命にも良くないことや自分以外に対しても悪影響がでることを知らせたい。

【特別支援学校】

- ・特別支援学校の児童にもわかるようなアニメなどの映像で体への害(たばこ・がん)の影響について知らせる内容の物を制作してほしい。

【教育委員会】

- ・副流煙による害や保護者の影響も大きいと、家庭への啓発が必要だと感じている。自分だけでなく身近な人も害を受けること(受動喫煙)を認識できる資料提供をしてほしい。

【学校薬剤師】

- ・がん予防対策～健康診断の重要性(早期発見・早期治療)を知ってもらいたい。
- ・たばこの理解と並行して、がん教育を行って、生じやすくなる疾患について理解することができるという。
- ・喫煙にお金がかかることやがんの予防が大事なことを伝えられる教材を作成してほしい。
- ・YouTube 等の Web での視聴を活用も有効だと思う。
- ・薬学講座の講義中に使用できる実験映像や注意喚起の DVD の最新版を作成してほしい。
- ・「加熱式たばこ」や「電子たばこ」の害について知ることができる資料があると良い。
- ・たばこは「有害なのに、喫煙しても大丈夫」であるという誤った事実もあるので「たばこの害により病気になる禁煙した人」等に体験談を話してもらおうと良い。
- ・パワーポイントに使用できるように、ホームページに画像ファイルとして掲載してほしい。
- ・中高生にも同じ内容で良いと思うので配ってみてはどうか。
中高生も下敷きプリントよりインパクトがあっていいかも。
- ・中学生・高校生に対して、もう少し行動できれば良い。
- ・たばこの吸い始めや喫煙が習慣化する高校～大学の時期にもっと強いメッセージを送り続ける必要がある。
- ・数年前にデザインが新しくなった下敷は分かりやすく、使いやすいと思う。
- ・受動喫煙防止の観点から、喫煙者に対する啓蒙を進めていく必要性を感じる。
- ・喫煙場所のさらなる制限、適正化を進める。

静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター

住所：〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪1007

電話：055-989-5222 (代) (内線) 2118

FAX：055-989-5557

ホームページ：<http://www.scchr.jp/>